

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ブイ・テクノロジー  
コード番号 7717 URL <http://www.vtec.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 広報IRグループ長  
四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 杉本 重人  
(氏名) 河原 拓  
配当支払開始予定日

TEL 045-338-1980  
平成23年12月12日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,548	△2.4	957	△49.0	959	△47.6	609	△45.9
23年3月期第2四半期	10,811	17.6	1,879	45.3	1,832	44.2	1,127	34.2

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 461百万円 (△55.3%) 23年3月期第2四半期 1,032百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	13,029.96	—
23年3月期第2四半期	24,179.60	24,157.85

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第2四半期	14,911	8,723	57.7	183,797.36
23年3月期	15,710	8,401	53.0	177,811.79

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 8,600百万円 23年3月期 8,320百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	1,875.00	—	3,875.00	5,750.00
24年3月期	—	2,500.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,500.00	5,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
23年3月期期末配当には1部上場記念配当2,000円を含んでおります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,800	△21.4	1,000	△58.4	1,000	△57.5	600	△62.0	12,822.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
連結業績予想の修正については、本日(平成23年11月7日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 上海微鉄克貿易有限公司、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	47,540 株	23年3月期	47,540 株
24年3月期2Q	748 株	23年3月期	748 株
24年3月期2Q	46,792 株	23年3月期2Q	46,647 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 連結業績予想の1株当たり当期純利益は、当第2四半期連結会計期間末の株式数(自己株式を控除)により計算しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10
4. 補足情報 .....	11
生産、受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の金融不安や米国の景気低迷及び円高の長期化、並びに東日本大震災の影響等により、景気の先行きに不透明な状況で推移致しました。

当社グループの関連するフラットパネルディスプレイ（FPD）市場は、スマートフォン及びタブレット端末向けの中小型液晶パネルは比較的堅調に推移したものの、主力のテレビ向け液晶パネルは需要の収縮化に伴う液晶パネルメーカーの生産調整が想定以上に長期化し、経営状況の変化とともに設備投資が大幅に延伸されました。

このような厳しい環境の中、当社グループは、市場拡大が期待される中小型液晶パネル案件、3D向け案件及び有機ELパネル案件等について商談成約に向けた活動を積極的に行うとともに、テレビ向け液晶パネル案件についても将来の受注を目指して鋭意活動を継続致しました。

受注金額は、主に韓国及び日本向けの検査関連装置の受注により39億1千8百万円（前年同四半期は128億5千9百万円）となりましたが、前年同四半期と比べて減少しているのは、前年同四半期には露光装置及び大口の検査関連装置を計上したことによります。なお、受注残高は25億1千7百万円（前年同四半期は111億9千8百万円）となりました。

上記の結果、売上高は105億4千8百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は9億5千7百万円（前年同期比49.0%減）、経常利益は9億5千9百万円（前年同期比47.6%減）、四半期純利益は6億9百万円（前年同期比45.9%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億9千8百万円減少し、149億1千1百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金15億1千6百万円によるものであり、主な減少は、仕掛品17億4千2百万円、現金及び預金5億円によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億2千万円減少し、61億8千8百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金9億1千4百万円、未払法人税等1億4千7百万円によるものです。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ3億2千2百万円増加し、87億2千3百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ5億5千3百万円減少し、61億8千7百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、1億2千4百万円（前年同四半期は53億9千3百万円の取得）となりました。資金の取得は、主にたな卸資産の減少額17億7千1百万円、税金等調整前四半期純利益9億5千9百万円により、資金の使用は、主に売上債権の増加額16億2百万円、仕入債務の減少額8億4千3百万円、法人税等の支払額4億5千9百万円によります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億4千6百万円（前年同四半期は4千7百万円の使用）となりました。主に定期預金の預入による支出額9千5百万円、有形固定資産の取得による支出額3千9百万円によります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1億8千1百万円（前年同四半期は23億5千1百万円の使用）となりました。主に配当金の支払額1億8千1百万円によります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月5日の平成24年3月期第1四半期決算発表時の通期予想につきましては、商談中の案件が上半期中にほぼ成約の見通しが得られるとの前提で作成致しました。

しかしながら、テレビ向け液晶パネルの需要の収縮化に伴う液晶パネルメーカーの生産調整が想定以上に長期化し、経営状況の変化とともに設備投資が大幅に延伸されたこと、また当社において前述の延伸の影響を受けた対象の多くが大型案件であったこと、により通期の業績見通しにつきましては、前回の通期業績予想を大幅に下回る見込みとなり、現時点においては売上高148億円、営業利益10億円、経常利益10億円、当期純利益6億円を見込んでおります。

因みに、第2四半期に受注を予定していた多くの案件は、その受注が第3四半期以降にずれ込み、納入時期が今期に間に合わないため、来期の売上計上となる見込みです。

当社は今後業績改善に向け、更なる努力を重ねて参ります。具体的には、来期以降に向けて、スマートフォンの更なる高画質化に伴う中小型パネル生産関連の設備投資を見据えたスマートフォン用露光装置の更なる拡販、今後の3Dテレビ市場の拡大を見据えた3Dテレビ用フィルム生産システムの拡販及び有機ELパネル生産関連の設備投資を見据えた有機EL用露光装置の拡販に注力していく所存です。

※上記の業績予想につきましては、本資料発表現在、当社が入手可能な情報に基づいて作成しております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、上海微鉄克貿易有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,046	6,545
受取手形及び売掛金	4,443	5,960
商品及び製品	74	47
仕掛品	2,523	781
原材料及び貯蔵品	346	336
その他	732	712
貸倒引当金	△7	△16
流動資産合計	15,159	14,368
固定資産		
有形固定資産	222	219
無形固定資産	104	91
投資その他の資産		
破産更生債権等	82	71
その他	223	233
貸倒引当金	△82	△71
投資その他の資産合計	223	233
固定資産合計	550	543
資産合計	15,710	14,911
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,507	4,592
未払法人税等	519	372
製品保証引当金	267	264
引当金	124	112
その他	825	769
流動負債合計	7,244	6,111
固定負債		
引当金	64	76
固定負債合計	64	76
負債合計	7,309	6,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408	2,408
資本剰余金	2,064	2,064
利益剰余金	4,140	4,568
自己株式	△125	△125
株主資本合計	8,488	8,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△3
為替換算調整勘定	△165	△312
その他の包括利益累計額合計	△168	△316
新株予約権	80	123
純資産合計	8,401	8,723
負債純資産合計	15,710	14,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,811	10,548
売上原価	7,592	8,167
売上総利益	3,219	2,380
販売費及び一般管理費	1,339	1,423
営業利益	1,879	957
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	12
受取保険金	—	4
その他	2	1
営業外収益合計	5	18
営業外費用		
支払利息	6	4
為替差損	45	4
その他	0	8
営業外費用合計	52	16
経常利益	1,832	959
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
国庫補助金	4	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11	—
その他	—	0
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益	1,825	959
法人税、住民税及び事業税	619	327
法人税等調整額	78	22
法人税等合計	697	349
少数株主損益調整前四半期純利益	1,127	609
四半期純利益	1,127	609



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,127	609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
繰延ヘッジ損益	△10	—
為替換算調整勘定	△83	△147
その他の包括利益合計	△95	△148
四半期包括利益	1,032	461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,032	461
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,825	959
減価償却費	69	56
株式報酬費用	25	42
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	9	△12
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△229	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12	13
受取利息及び受取配当金	△3	△12
支払利息	6	4
為替差損益(△は益)	3	7
有形固定資産売却損益(△は益)	0	—
有形固定資産除却損	2	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,367	△1,602
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,332	1,771
その他の流動資産の増減額(△は増加)	170	△8
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△3	△3
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	10
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,769	△843
前受金の増減額(△は減少)	△150	△146
その他の流動負債の増減額(△は減少)	13	90
小計	5,692	327
利息及び配当金の受取額	3	12
利息の支払額	△6	△4
法人税等の支払額	△295	△459
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,393	△124
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△2,358
定期預金の払戻による収入	—	2,262
有形固定資産の取得による支出	△39	△39
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△2	△0
貸付金の回収による収入	1	1
その他	—	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47	△146

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,050	5,280
短期借入金の返済による支出	△8,400	△5,280
株式の発行による収入	172	—
配当金の支払額	△174	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,351	△181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,977	△553
現金及び現金同等物の期首残高	788	6,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,765	6,187

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

(資金の借入)

当社は、今後の事業環境の変化に備えて、平成23年10月31日に取引金融機関から下記の通り、長期及び短期合計で総額23億円の借入による資金調達を行いました。

(1) 資金用途

運転資金

(2) 借入先

株式会社三菱東京UFJ銀行他9金融機関

(3) 借入金額

2,300百万円

(4) 借入実行日

平成23年10月31日

(5) 担保提供資産の有無

無し

#### 4. 補足情報

##### 生産、受注及び販売の実績

当社の事業特性上、生産、受注及び販売額について前年同四半期と比較した場合、増減額又は増減割合が著しく変動する可能性があります。これは、FPD関連製造設備は生産性向上のために大型化し1件当たりの投資額が巨額になってきていること及び検査関連装置に比べて単価が多額である露光装置の事業が拡大していること、並びに当社グループでは、顧客の個別注文に応じた受注生産販売を行っているため、顧客の都合によっては受注や納入の時期が変動し、業績に与える影響が大きくなる可能性があるためです。

当第2四半期連結累計期間において、FPD事業の生産、受注及び販売実績は、次のとおりです。

##### ①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	前四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
FPD事業	6,420	7,231	12.6
合計	6,420	7,231	12.6

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### ②受注金額

当第2四半期連結累計期間の受注金額を地域別に示すと、次のとおりです。

地域	前四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
日本	971	1,373	41.4
中国	6,178	67	△98.9
韓国	4,195	1,966	△53.1
台湾	1,515	511	△66.3
合計	12,859	3,918	△69.5

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### ③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりです。

地域	前四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
日本	4,431	997	△77.5
中国	2,266	6,745	197.6
韓国	2,990	1,537	△48.6
台湾	1,121	1,267	13.0
合計	10,811	10,548	△2.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。